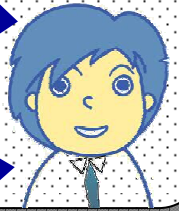




ねっどわーく



H24. 04. 05 No.3

■「3・7・30」の原則（新年度、子どもとの出会いに向けて）

「3」とは、3日間のこと。いわゆる黄金の3日間とかよばれていますね。同様に「7」とは、1週間のこと。「30」とは、1ヶ月のことです。これは、持ち上がりよりも、子どもたちと初顔合わせのときに有効かなあと感じています。

<3>（最初の3日間）のポイント

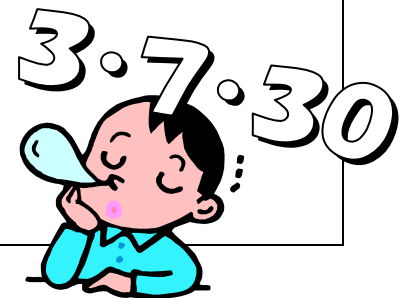
- ①「今度の先生は楽しそうだ」「今度の先生は、おもしろそうだ」というイメージを与える。
- ②学級の仕組みづくりのまず一歩を始める。子どもたちと相談をしながらでもよいが、譲れない部分は譲らない。

<7>（最初の1週間）のポイント

- ①朝、学校へ来てから帰るまでの「学校の毎日」の仕事を決めてしまう。ルーティン化のことです。
- ②子どもたちにきちんと指導する中で、ポイントとなることを押さえる。

<30>（1ヶ月）のポイント

- ①1週間でつくりあげた学級の仕組みをさらに徹底する。
- ②気を抜かないで、手を抜かないで何度も何度も繰り返し教え、指導する。



これは、昨日発行したおたよりの「縦系・横系」で言えば、ほとんど「縦系を張ること」に近いです。もちろん、横系を張りつつ、バランスをとりつつ…であることは言うまでもありませんが（*_^*）

「先生はこのクラスを〇〇なクラスにしたい。だから、〇〇について一緒ががんばろう。でも××だけは許しませんよ〜。」

ここ、ひそかにポイント！

皆さん、明日、がんばりましょう！

明るく、でも、真剣に

なぜ、この「3・7・30」が学級づくりに効果的なのか。それは、担任教師がきちんと教室に秩序だった仕組みを確立してくれることを心の中で願っていると思うのです。心理的な<安定>と<居心地>の良さかなあ……。

担任教師が、クラスの中に明確なルール（もちろん、あれもこれもではなく、必要最低限のこと。ここをはきちがえないでくださいませ。）を確立すること。言葉でいうのは難しいのですが、押さえこむという感覚ではなく、みんなが心地よく暮らすために、いっしょに気をつけていかないとね！的な感覚です。

ではここで問題です。この3つで、どこに一番気を付けなくてはならないと思いますか？

どれも大事なのですが、私は、「30」と思います。なぜか。それは、<3>も<7>は、誰もがとても緊張している時期だから、取り立てて言うまでもないかなと。しかし、この時間が過ぎていくと、ほっとしてしまう。だから、<3>や<7>で確立した仕組みが、きちんと確立しないまま、いい加減になってしまう。だから、<30>のあたりにまで、辛抱強く、子どもたちと一緒に縦系を張るのが大事かと…。

今日の格言「継続は力なり」（^。^）